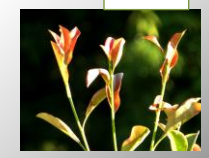
白子川源流に森をつくろう！

“源流の森”プロジェクト①



岡崎一成（“源流の森”研究会）

源流の湧き水は減っています。
源流の生き物は少なくなっています。

豪雨対策のため、
源流では川を深く掘り下げる工事や大型の調節池の建設が予定されています。（下記参照）

源流の湧き水は涸れてしまうのではないか、
源流の生き物はいなくなってしまうのではないか、心配しています。

私たちは、源流が湧き水を涵養し、生き物を育み、人々の憩いとなる森と水辺をつくろうと２年前から毎月勉強会を開催しています。
治水事業と共生できる道を真剣に考えています。
楽しく自由闊達な話合いが行われています。
みなさまもぜひ、ご参加ください。

源流の森プロジェクト
湧き水を守る森
生き物を育む森
みんなの憩いの森

毎月第３金曜日　午後８時から
カフェみなみ（大泉学園駅から徒歩 10 分）
連絡先：notuvenus@docomo.ne.jp　岡崎

源流の水辺環境が破壊されるかも？

東京都は、「新河岸川及び白子川河川整備計画（変更原案）」を策定し、パブリックコメント（当会からは７件提出）～学識経験者の意見聴取～関係部局との協議～関係自治体（練馬区含む）の意見聴取等を経て、2018 年３月頃に計画決定を進めようとしています。
これは、局地的豪雨・集中的豪雨に対応すべく、西東京市の膨大な雨水全量を（同市の中での貯留をせずに）⇒練馬区の白子川源流域に流し込むために、源流近くの民有地に巨大なコンクリート調節池（25 万㎥）を造る計画です。私たちは源流の危機と捉え「源流が排水域で良いのか」「西東京市と練馬区で負荷の分散をはかるべき」と考えます。
みなさまはどのようにお考えになりますか？
▼計画原案は⇒「新河岸川及び白子川河川整備計画（変更原案）」と検索
▼パブリックコメントの内容は⇒「新河岸川及び白子川河川整備計画変更原案　ご意見」と検索　（編集部）

〝源流の森〟プロジェクトとは、白子川の源流に〝湧き水を守る森〟〝生き物を育む森〟〝みんなの憩いの森〟をつくり、水辺と緑、川と緑地、緑地と緑地を結ぶ、川のネットワークをつくろう！という取組みです。